

No. 71

9月定例会

令和4年11月21日発行

やまなし 市議会 だより

目次

定例会の概要・市長所信表明	2
議案等審議結果	3~4
議会構成	4
代表質問	5~7
一般質問	8~11
委員会報告	12~15
議会活動日誌・編集後記	16

歳入歳出予算にそれぞれ24億2,653万4,000円を追加し、総額232億3,579万2,000円とする一般会計補正予算など29案件を可決しました。

第63回笛吹川県下納涼花火大会(新型コロナウイルス感染者の増加により延期)

3年ぶりに開催され、約3,000発の花火が秋の夜空を彩りました。

9月 定例会 の概要

市長から提案された条例改正、令和4年度一般会計補正予算などの審議を行いました。

議案第50号

令和4年度山梨市一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算にそれぞれ21億2786万2000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ229億3712万円にするものです。内容は、人事異動等に伴う職員給与費の補正や、深刻な問題となっている農産物盗難防止対策、及びコロナ禍における物価高騰に対する支援策の追加、並びにマイナンバーカード普及促進強化対策などの追加による補正予算です。主なものとして、農産物盗難防止対策としては、ドローンによる夜間警戒業務や防犯機器導入に対する補助金556万円余の追加、コロナ禍における物価高騰に対する支援策としては、保育園、幼稚園等における副食費保護者支援策を講じ、マイナンバーカード普及促進強化の取り組みについては、各種イベントでの申請受付や、市内各所での出張申請の受付を行い、全庁をあげてマイナンバーカードの普及強化に努めるための事業費を追加するものです。ふるさと納税関連としては、寄附額が増額見込みとなることを受け、これに必要な事業費の追加2億7153万円余、ふるさと輝き基金への積立金16億9298万円余などであり、ふるさと納税制度を活用したウクライナへの支援金については、110万円余のご寄附をいただきましたので、ウクライナ大使館を通じて寄附することとしています。その他、市内保育施設再整備計画策定業務の追加880万円、農業振興費・農地費の追加4463万円余、林業振興費の追加169万円余、商工振興費・観光施設及び道の駅管理経費の追加857万円余、土木費の各事業の見直しと追加2955万円余、消防費の追加192万円余、教育費の追加962万円余、繰越明許費補正の追加については、市内保育施設再整備計画策定業務、山梨市駅南地域整備事業及び都市構造再編集集中支援事業について設定するものです。

高木市長の所信表明（9月定例会）

おもな事業の報告

●山梨市営定住促進住宅を農業研修者等の宿泊滞在施設として利用する制度について

昨今、農業法人や個人事業主などにおいて、農業研修者、農業体験者を受け入れる際、宿泊施設の確保に苦労しているとの声があることから、本市では市営定住促進住宅の空き部屋を活用して、一時的に滞在するための宿泊施設を提供することとしました。現在、市営定住促進住宅小原東第二住宅を宿泊滞在用施設として使用することに関して、必要な事項を定めたる要綱を制定しており、今後の利用にあたっては、広報やHPにより周知してまいります。

●水道事業の運営について

水道事業は、平成28年度に策定した「第2次山梨市水道ビジョン」に基づき、市民から信頼される安全・安心で持続可能な水道を目指し、様々な施策を進めているところです。しかしながら、現在の運営状況は給水人口の減少、節水意

識の高まりや節水機器の普及等により、水需要の低迷が見込まれるのに合わせ、老朽化した施設や管路の更新、既存施設等の耐震化への需要増大という課題に直面しています。こうした課題の克服には、水道料金の改定が必要とされることから、昨年度「山梨市水道事業経営戦略」に基づき、山梨市水道審議会に諮問を行ったところですが、この時点では、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい経済情勢であったことや、下水道料金が令和4年度に値上げされることなどが決定していたことなどを踏まえ、水道料金の改定は一旦見送り、今年度改めて審議を行う旨の答申をいただきました。その答申を踏まえ、改めて7月28日に水道審議会に水道料金改定についての諮問を行ったところです。今後は、数回の審議を経て、10月中旬頃に答申をいただき、その結果により次期定例会へ関係議案を上程する予定です。

令和4年9月定例会議案等審議結果

9月定例会議案等審議結果（議長を除く）

（賛：原案に賛成 反：原案に反対 棄：棄権）

議案 番号	件名	議員名														審議 結果			
		村 田 浩	宮 川 真 有	遠 山 雄 二	萩 原 弥 香	深 沢 敏 彦	糠 信 平	藤 巻 豊 彦	星 野 洋	古 屋 弘 和	三 枝 正 文	武 井 寿 幸	土 屋 裕 紀	矢 崎 和 也	小 野 鈴 枝		飯 島 力 男	岩 崎 友 江	向 山 輝
第45号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度山梨市一般会計補正予算（第3号））	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第46号	山梨市手数料条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第47号	山梨市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第48号	山梨市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第49号	山梨市乾徳公園設置及び管理条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第50号	令和4年度山梨市一般会計補正予算（第 ⁵ 号）	賛	賛	賛	賛	賛	棄	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	可決
第51号	令和4年度山梨市一般会計補正予算（第 ⁴ 号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第52号	令和4年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第53号	令和4年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第54号	令和4年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第55号	令和4年度山梨市活性化事業特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第56号	令和4年度山梨市簡易水道事業会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第57号	訴えの提起について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第58号	令和3年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	棄	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第59号	令和3年度山梨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	棄	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第60号	令和3年度山梨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	棄	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定

議案 番号	議案 件名	議員名														審議 結果			
		村 田 浩	宮 川 真 有	遠 山 雄 二	萩 原 弥 香	深 沢 敏 彦	糠 信 平	藤 巻 豊 彦	星 野 洋	古 屋 弘 和	三 枝 正 文	武 井 寿 幸	土 屋 裕 紀	矢 崎 和 也	小 野 鈴 枝		飯 島 力 男	岩 崎 友 江	向 山 輝
第61号	令和3年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第62号	令和3年度山梨市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第63号	令和3年度山梨市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	棄	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第64号	令和3年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	棄	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第65号	令和3年度山梨市活性化事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第66号	令和3年度山梨市水道事業会計決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	棄	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第67号	令和3年度山梨市簡易水道事業会計決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	棄	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第68号	令和3年度山梨市下水道事業会計決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	棄	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第69号	令和3年度山梨市病院事業会計決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第70号	山梨市教育委員会委員の任命について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
第71号	山梨市監査委員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
山議案 第4号	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
請願 第2号	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	採択

●総務常任委員会正副委員長の変更について

令和4年9月30日、総務常任委員会委員長の辞任に伴い、正副委員長を互選しました。

新委員長：飯島力男 議員
新副委員長：藤巻豊彦 議員



三枝正文 議員

三枝正文議員（牧丘町室伏）の選任に同意しました。

議会選出の
監査委員に
三枝正文 議員



問 山梨市駅南側の今後の整備展望について

①日本カーボン跡地の今後の活用について。

②日本カーボン跡地については、立地適正化計画における「都市機能誘導区域」に位置付けられており、本市がイメージする施設誘致を考えると、市が一括購入し、土地活用事業を主導していくべきと考えるが、市の考えを伺いたい。

市長 高木晴雄

答 ①複数の民間事業者による開発提案がなされていると伺っている。

②昨年12月「山梨市駅南地域まちづくりの会」より、本市にとって重要な場所であるため市での購入をお願いしたいとの要望をいただいた。本市としては、この要望

を真摯に受け止め、この土地はまさに100年の計に立った開発が不可欠であることから、十分な検討がなされるべきであると認識した。更に、市民が満足する開発が行われるためには、多くの声を聞くことも必要であるとも考えている。当該土地の大半は民有地であり、市が主導して事業を進めることはできない状況であるため、本市が当該土地を所有することも視野に入れ、積極的な取り組みでいく。

問 アザレアタウンについて

本市にとってどれだけの効果をもたらすのか、今一度、市長の本意を伺いたい。

市長 高木晴雄

答 本地域は、令和2年度に定められた整備構想による土地

区画整理事業、街路事業、狭隘道路拡幅整備事業の進捗により、都市基盤となる道路ネットワークが形成され、交通環境が向上することとなる。また、救急や防災面でも改善が図られ、更に農地から宅地への土地利用の転換が進み、商業施設や高齢者福祉施設、子育て

関連施設などの誘致により、新たな市街地が形成され、にぎわいの創出に繋がるものと強く期待している。市長就任前からこの地域を山梨市の眠れる資源、黄金地帯と考えており、アザレアタウンの整備は、安全・安心の市街地を生み出すことで本市の活性化、更には本市発展の起爆剤となるものと考えている。今後も本市の最重要課題として鋭意取り組んでいく。

問 平和教育について

学校教育の現場において、平和教育をどのように捉えているのか。また、戦後77年、日本の国で本当にあった戦争をどのように伝えていくのか。

教育長 嶋崎 修

答 本市において、社会科では先の大戦を中心に、その悲惨

さとともに平和の尊さを知る学習国語では物語や詩歌に触れ、人々が心から平和を願う心情や、親子人と別れなければならなかった、辛く悲しい気持ちを伝える学習が行われている。更に、総合的な学習の時間を使って、戦争に関する史跡や史実をグループ毎に調べたり、戦争体験者の話を聞いたりする学習も行われている。特に、唯一の被爆国である我が国においては、世界平和の実現に向け

て、子ども達に伝えていく重要性を感じている。また、ロシアによるウクライナ侵攻後は、国際的な立場に立って平和な世の中を創造できる人材の育成が急務であり、学校教育における平和教育の充実が、今後ますます重要になってくると考えられる。そのため、今後も一層の充実に努めていく。

へその他の質問

- 山梨市フルーツパーク株式会社による山梨県笛吹川フルーツ公園指定管理者への応募について
- 小中学校でのジェンダーフリーについて
- 小中学校の校則見直しについて
- 小中学校の安全管理について
- 夏休み明けの子ども達の対応について



▲日本カーボン跡地



問 アザレアタウン整備推進事業について

①以前、(仮称)南反保地域まちづくりの会が先進地視察を行っているが、その成果について。

②現況測量の調査結果について。

③令和4年度のアザレアタウン整備推進事業の実施内容について。

④アザレアタウン土地区画整理事業調査及び促進調査(その3)業務委託の内容について。

⑤まちづくりに多様な意見・アイデアを取り入れることについて。

市長 高木晴雄

答 ①平成30年度と令和元年度に土地区画整理事業の先進地視察を行い、現在検討している組合施行について、組合設立までの苦労や、設立後に円滑に整備を進めるポイント等を聞くことができ、

大変有意義であったとの感想をいただいた。

②小原西、小原東、上神内川地内の整備予定区域を含む約22ヘクタールの現況測量を実施し、今後予定される整備の基礎図面となる平面図を作成した。

③事業範囲や整備内容、資金計画などを事業プランとしてまとめ、地域内の都市計画道路「北中学校東通り線」の道路線形などの検討や、事業範囲を定める地区界測量の実施、更には整備予定区域の不動産鑑定を実施する。また、区画整理組合の立ち上げや事業プランの検討を行う準備委員会について、重点地区の地権者を中心に組織化を進めている。

④土地利用計画図の作成や道路設計、地権者説明会等の資料作成などである。これらの結果をまとめて事業プラン案を策定し、年内には地権者に提示して土地区画整理事業への基本同意を得ていく予定である。

⑤高齢者や障害者、次世代を担う子ども達など、様々な方の意見・アイデアを取り入れることは大変重要なことであるため、今後、計

画を進めていく段階において取り入れられるよう検討していく。

問 一般社団法人山梨市ふるさと振興機構について

①コロナ禍により令和2年度から事業縮小のことであるが、この約2年半、どのような事業を行ってきたのか。

②平成30年度の取り組みに関する成果について。

③将来の展望について。

地域資源開発課長 平野宗則

答 ①地域のリサーチを行い、三富地域において地域課題などを考える時間に充て、地元との定期的な交流会を行ったとのことである。また、主な事業としては、本市特産の果樹の販売と卸し、ウェアサイト等のグラフィックデザインやメディア企画などに取り組んでいる。

②当時の事業を通じたビジネスパートナーとの関係づくりができるなど、関係人口・交流人口の創出に繋がっている。就農については、定着するまでに要する期間、ワイン樽のキープや果樹園を対象としたオーナー制度を展開し、作業に携わってもらう体験型の事業を実施している。また、専業農家を希望する方を地元へ繋ぐ窓口としての役割も担っている。

③設立当初からこれまで取り組

んできた地域産業の販路開拓や商品開発のノウハウを生かし、いかに多くの人たちに山梨市の魅力を伝えるのかに重点を置き、地元の支援や、市の政策課題解決に携わっていききたいとのことである。

〈その他の質問〉

○新型コロナウイルス対策と対応への市長の考え方について

○世界農業遺産認定を受けての今後について

○遊休農地や空き家の解消と更なる定住促進に向けてについて

○市役所の業務体制について

○指定管理者制度等(協働の事業)について

○市職員のメンタルヘルス対策について

○山梨市協働まちづくり支援事業(協働の事業)について

○山梨市地域新エネルギービジョン推進計画について



▲山梨市ふるさと振興機構



問 山梨市の今後のまちづくりについて

①アザレアタウン整備推進事業は計画通りに進んでいるのか。また、住宅街ができるのはいつ頃になるのか。

②旧市役所跡地活用の検討が続いていると思うが、2回目のサウンディング調査を終えての状況と、今後の流れについて伺いたい。

③日本カーボン跡地の土地は市が購入し、まちづくり事業として取り組んだ方が良いと思うがいかか。

市長 高木晴雄

答

①事業については地権者の賛同もあり、予定通りに進捗している。今後は事業計画を策定し、最終的な同意を一日も早く得るため、最善を尽くしていく。住

宅街が形成される時期については、土地所有者の考え方によるところである。

②民間事業者5社から跡地に関する「短期での活用方法」や「中・長期に渡る活用」について、官民連携の可能性を踏まえたご意見をいただいた。今後は、これまでの検討委員会での意見やサウンディング結果を踏まえ、活用の方向性を来年2月上旬を目途に示せるよう進めていく。

③大半が民有地であるため、市のまちづくり事業として進めることはできない。今後、事業化するためには、市が購入することを視野に入れて取り組むことが有効であると考えている。

問 令和3年度一般会計決算状況について

①市税収入が減額となった中、歳入全体の決算額は昨年度を上回る金額となっているが、その要因について伺いたい。

②令和3年度末の公債費残高の状況について。

③令和3年度決算における、財政の硬化化度合いを示す経常収支比率の状況について。

市長 高木晴雄

答

①国が進める経済対策を円滑に行うため、国庫補正予算として普通交付税が追加されたこと、ここ数年右肩上がりとなっている「ふるさと納税」が31億円を超える寄附額となったことにより、昨年度決算額を上回る結果となった。

②前年度比4.1%減の233億円余となり、平成28年度末の水準まで減少した。

③義務的経費全体は増額となったものの、経常経費充当一般財源が減額となったことから4ポイント改善し、92.6%となった。

問 果実の盗難被害に対する支援について

①本市特産の桃・ブドウ盗難防止のための具体的な対策について。

②盗難被害を防止するため、来年度以降も恒久的に抑止する対策も必要と考えるが、市の考えを伺いたい。

③盗難被害にあった農家への経済的支援や補償の考えについて。

市長 高木晴雄

答

①現在、JAフルーツ山梨が県の補助制度を活用して連日の夜間警備を行っており、市消防団による巡回活動や、9月末までドローンによる盗難防止警戒飛行を行っている。更に、盗難防止

カメラ等機器購入に係る支援制度を構築し、盗難防止機器設置の普及拡大を図っていく。

②最も有効的な対策を引き続き研究し、防犯カメラ等の購入に係る支援については、今後の動向を踏まえた上で検討していく。また、ドローンによる盗難防止・抑止警戒飛行は、今後も必要であると考えている。

③盗難被害に係る直接的な支援は行っていないが、万が一に備え、盗難や自然災害などにより、収入が減少した場合に補償対象となる農業共済組合の収入保険への加入を推奨している。

＜その他の質問＞

- 新型コロナウイルス感染症オミクロン株対策について
- 犯罪被害者支援条例の制定について
- 職員採用試験について
- 柔道整備にかかる窓口無料化について
- 特色ある学校づくりについて
- 学校給食におけるアレルギー対策について





矢崎和也 議員

新翔会

問 山梨市のふるさと納税の現状と取り組みについて

①新設された「ふるさと納税推進室」において、良好に事業推移しているふるさと納税の担当課長と担当リーダーを同時に異動させる意味と狙いについて。②昨年度の事前予約分と、本年度申し込み分の返礼品の確保状況について。③対等とは言えない本市と富士吉田市との連携協定における現状と対応について。

市長 高木晴雄

答

①人事異動については、これまでのキャリアによる職務能力・知識などを生かしながら、新しい視点が加わることで活性化が図られることを期待したものである。②人気の返礼品である桃・ブドウなど、問題なく確保できている。③本協定に則り、両市の市長や担当者で共通返礼品の増加や開発、協定の見直し等について協議を行っている。令和3年度

の取扱金額は、富士吉田市が本市産シャインマスカット単品で3億6000万円余、本市は富士吉田市産返礼品13品目で470万円余となっている。今年度から県の共通返礼品から除外した「山梨市産桃」を富士吉田市との共通返礼品に加え、本市は富士吉田市の登録返礼品全般を取り扱える合意書を改めて取り交わした。

問 再質問

市長は昨年、取扱金額と品目を是正するよう取り組むとのことであったが、過去2年間の取扱金額にして5億円以上の本市産シャインマスカットが富士吉田市内に出し、財源となっている。本市では700万円弱、この状況で是正したと言えるのか。どこが優位な協定なのか。また、今年から本市産桃まで取り扱わせるとはどういうことか。協定の解除を求めらる。

市長 高木晴雄

答

取扱品目の多さが優位と考えているが結果として伴っていないため、新しい商品開発を進めるなど、連携を強化していく。

〈その他の質問〉

○山梨市区長等の業務軽減への取り組みについて

○令和4年度の本市

市機構改革と職員配置について



▲シャインマスカット



土屋裕紀 議員

新翔会

問 市内一括LED化事業の事業範囲について

①12年間で20億円もの債務負担行為による本事業について、対象施設は119施設としているが、その間に統廃合や解体、改修工事等を予定している施設数とその対応について伺いたい。②全てを外部委託するのではなく、高度な知識や技術が不要な照明機器は分類し市が管理することで無駄な経費が省かれると考えるが、市の考えを伺いたい。③本事業は交付税措置の対象となったことに端を発しているが、措置確定までのスケジュールを伺いたい。

市長 高木晴雄

答

①公共施設では解体・譲渡が6施設、長寿命化・大規模改修が19施設、学校施設では部分改修が必要な6施設が該当する。公営住宅等では3施設が入居者退去に合わせ用途廃止を検討する予定で、各施設における最新の方針

を再確認し、LED化の必要性を判断していく。②施設毎の最も効果的な施工・管理方法を見極め、費用対効果を上げていく。③優先交渉権者からの事業提案内容に基づいた具体的な契約内容を踏まえた上で、交付税措置の金額、具体的なスケジュール等を関係機関と協議していく。

問 消防団員の処遇改善について

本市における団員報酬は全国平均より大幅に低く、特に活動応分の報酬制度や活動手当の見直しが必要である。

①過去に消防団OBを機能別団員とする提案もしてきたが、市はどのようにして消防団組織の存続を目指すのか。②具体的な処遇改善について。

市長 高木晴雄

答

①広報活動を通じ団員確保に努め、機能別団員の導入は団員数調査や関係団体等との協議を行い検討していく。②年額報酬の引き上げと出勤報酬に関する制度創設を、令和5年度に向けて検討している。

〈その他の質問〉

○防災アプリと市民へのタブレット配備について

○本市の流域治水計画を参考にした水防対策について

○下水道の不明水対策について

一般質問



三枝正文 議員

新翔会

問 「旧保健農園ホテル・フフ山梨」賃貸借事業者の撤退について

温泉掘削や施設改修などの準備をして1年後のオープンを目指していた「日本開発株式会社」から、経済情勢等の影響により8月19日に賃貸借契約解除の申し出があった。市民の期待が大きかっただけに、誠に残念である。

①これまでの施設改修及び温泉掘削に係る工事等の進捗状況について。②撤退に至った詳細な理由について。③契約解除のペナルティについて。④選考審査等に問題はなかったのか。⑤今後の有効活用の進め方について。

市長 高木晴雄

答 ①これまで施設の改修箇所

調査等を実施していたところであり、工事着手はしていない。また、温泉掘削は現地調査を終え、申請等を済ませ、9月から掘削を開始する予定であった。②ウ

クライナ侵攻による社会情勢の変化に伴う物価高騰・資材納期の遅延等により、プロポーザルで示した内容を契約期間内に実施不可能となったことが主な理由である。

③賃貸借契約第16条では、1年間の賃料に残りの賃貸借期間の年数に乗じた金額を支払うことで契約解除を可能としている。この契約条項に基づき、今後、撤退までの維持管理費用や事務引継ぎ等を含め、協議を行い調整する。④地元役員や外部有識者などで構成する「公共施設等活用事業候補者選定委員会」により、多岐にわたる審査項目を設けて審査を実施している。その中で、本事業者の計画は、地域活性化への期待や集客力向上への対応など、企業自体の財政的な部分も含めて高い評価であった。⑤既存施設の総点検と、社会情勢の動向や社会的ニーズの把握が重要であるため、改めて施設のあり方検討委員会において、施設の有効活用が図られるよう、総合的に検討していく。

〈その他の質問〉

○成年後見制度の問題点について

○学校統廃合について



飯島力男 議員

尚志会

問 有害鳥獣について

①現在、本市猟友会に依頼している有害鳥獣駆除に関する課題と、本市の有害鳥獣の現状について伺いたい。

②有害鳥獣の適正頭数維持対策の一つとして、有害鳥獣の処理と併せ、有害鳥獣を「ジビエ」として捉え、これを有効活用できる施設整備と、そのシステムの確立を行政が行うことを提案するが、市の見解を伺いたい。

市長 高木晴雄

答 ①捕獲個体の処分や猟友会の会員数の減少、ハクビシンの

課題がある。有害鳥獣の現状は、令和3年度における鹿の捕獲数552頭、猪137頭、猿4頭、カラス116羽となっており、カラスは増加傾向にある。

②捕獲数が増大している鹿や猪の処分に係る負担軽減を図りつつ、焼却施設とジビエ施設の設置

に関する検討を行っており、ジビエとして利用するためのシステム的な課題について検証している。

問 グランドデザイン地域資源活用構想等における未利用地の活用について

①「旧山梨市役所跡地活用」の現時点での検討状況について。

②牧丘市有林と、その周辺にある財産区を含めた利活用について、将来的な展望も含めた考えを伺いたい。

地域資源開発課長 平野宗則

答 ①検討委員会では、活用の方向性を「短期での活用」と

「中・長期的な活用」の2つに分けて検討を進めている。短期では「にぎわい」や「交流」を創出する可能性を探求する方向で、中・長期的には社会経済情勢の変化に作用される要素を鑑み、将来展望を見据えての参考意見として検討されている。

②市有林の一部については、現在、ライオン(株)が市内2か所目の「ライオン山梨の森II」として利用されている。利活用については、グランドデザインを基本として、近隣の民有地や財産区も含めて課題を整理し、様々な視点から早期に活用が図られるよう、情報発信と調査・研究を進めていく。



萩原弥香 議員
公明党

問 マイナンバーカード普及推進等について

国の「マイナポイント第2弾」が後押しとなり、市民の理解も進んでいると感じているが、今後、運転免許証等としての利用場面も増えることが予想される。

本市の現況と、職員のカード取得率、及び今後の本市独自の取り組みについて伺いたい。

市長 高木晴雄

答 本市集計による申請件数は、6月以前は月100件程度であったが、7月は510件、8月には976件と大幅な増加となった。本市職員のカード取得率は、6月末現在で97・5%である。現在、全庁を挙げてカード普及促進を図っているが、今後の取り組みの一つとして、市民課等の窓口において利用できる「マイナンバーカード対応記載台」を県内でいち早く導入したいと考えている。これは、各種申請書の記入に

あたり、必ず必要とされる基本情報を省略することができるようである。更に、コンビニ交付による証明書発行手数料の100円減額も考えている。

問 新型コロナウイルス追加接種等の体制について

今夏、コロナ感染が急増加し、一時は県内の「医療危機メーター」病床利用率60%を示す事態となった。

本市における4回目接種の現況と、5回目接種及びオミクロン株対応新ワクチン接種体制の計画について伺いたい。

健康増進課長 矢崎貴恵

答 9月1日現在、本市の4回目の接種率は75・2%である。オミクロン株対応ワクチンの接種については、12歳以上の初回接種完了者を対象として、これまでと同様に、市役所での集団接種と、医療機関での個別接種を併用して実施する予定であり、10月上旬の開始を目指して日程等を検討していく。

〈その他の質問〉

- 自殺対策について
- 「学校ウェディング」について



遠山雄二 議員
新翔会

問 介護をする人を支援する「ケアラー支援」について

高齢者の長寿化により、介護する家族自体が高齢化してきている。高齢でも要介護認定が低い場合の家庭では、施設を利用できる頻度が少ないため、介護する側の年齢、家族構成、仕事状況等を配慮し、家族介護者の負担を軽減する支援が必要である。在宅介護における家族の負担は、精神的疲労と肉体的疲労であり、自分の時間が持てなくなること、心が休まる時が少なくなることなどの要因から、精神的疲労が蓄積され、介護うつになってしまう恐れがある。仕事と介護の両立が困難となる問題に直面している人も多く、そういった方を今後どのように支えていくかということが最も重要な課題となっている。

本市におけるケアラーに向けての取り組み、及びチームオレンジについて伺いたい。

介護保険課長 武井 学

答 仕事に従事しながらケアラーとなった方が、介護の負担から離職されるような事態にならないように、またヤングケアラーが学校生活に影響がないように、地域包括支援センターでは、ケアマネジャーや各介護事業所と調整する中で、家族の相談を丁寧

に受け止め、利用者の状況に合った介護サービス等の提供に努めている。チームオレンジは、認知症サポーターがチームを組み、現在、牧丘地域に1団体が組織化されている。今後は、発足した団体と更なる連携を取り、出前講座の実施や相談体制の整備を行うなど、活動を支援していく。更に、取り組みを市内全域に広げていくため、認知症サポーター養成講座の実施や、地域関係者に向けて事業説明を行うっていく予定である。

〈その他の質問〉

- 峡東地域の世界農業遺産認定について
- GIGAスクール構想に基づく1人1台端末整備事業について



一般質問



鎌信 平 議員
日本共産党

問 統一協会問題について

①本市は過去に世界平和統一家庭連合や関連団体と関係を持った事はあるか。②市民が霊感商法被害にあった場合の相談窓口体制はどのようになっているか。

市長 高木晴雄

答

①世界平和統一家庭連合や関連団体から後援等の申請があった場合には、「山梨市後援等名義の使用に関する事務取扱要綱」の基準に沿わないものとして承認を行わないこととなり、関係を持ち得ないものと考えている。なお、当該団体やその関係団体に対し後援名義等の承認を行った事実は確認されなかった。②現在、市民から霊感商法被害に関する相談は受けていないが、商工労働課内に消費生活相談室を設置しており、専門知識を有する相談員が、あらゆる消費生活相談に対応している。また、相談内容により、弁護士などを紹介する等の相談体制を構築している。

問

米軍機空中給油問題について
米国防総省のサイトに当該訓練の写真が掲載されたが、写真が撮影された甲府市と横田基地、そして本市の位置関係から、本市上空を飛行することも想定される。米軍機による空中給油訓練を陸地上空で行うことについて、市の見解とその対応を伺いたい。
防災危機管理課長 玄間達広

答

過去に空中給油機と戦闘機等による接触事故が発生しており、周辺地域に大きな不安を与えるあつてはならない重大な問題であると認識している。県は防衛省に対し、県内上空での訓練について事実確認を行っているが、事実関係は不明である。本市としては、市民の安全・安心に大きな影響を及ぼす重大な事案であるため、県を通じて事実確認のための情報収集を行うとともに、県や関係自治体と連携した対応に努めていく。

〈その他の質問〉

- 国葬問題について
- 後期高齢者医療費の窓口2割負担について
- 水道料金について
- 給食費無償化について



▲消費生活相談窓口（商工労働課内）



宮川真有 議員
新翔会

問

コロナ禍における事業者支援について

新型コロナウイルス感染症「第7波」の感染は7月下旬から急拡大し、未だ感染収束が見通せない中、物価高騰や燃料高騰の影響により、事業者は全国的に厳しい状況となっている。

現在実施している令和4年度山梨市中小企業・小規模事業者応援金、山梨市みんなの商品券の現状と、新たな事業者支援について伺いたい。

商工労働課長 戸泉俊美

答

応援金に関しては、9月13日現在で263件の申請があり、広報やSNS、山梨市商工会加盟業者に案内チラシを郵送するなど、情報を発信している。商品券に関しては、9月13日現在における登録店舗数は266店舗であり、令和2年度、3年度ともに高い換金率となっているため、今年度においても情報を広く発信

問

Withの今後の具体的な展望について

し、多くの市民に利用いただけるよう取り組んでいく。また、新たな事業者支援策に関しては、引き続き、国の経済対策等を注視する中で検討していく。

山梨市教育支援センター「With」について、今後、通所する児童生徒が増加した場合、職員の数と周知活動に課題があると感じている。不登校という選択は、決して悪いものではなく、様々な教育の選択肢を示すことが、本市の未来の多様性を示すことであり、その基幹となるWithの在り方は大変重要な課題である。具体的な対策について伺いたい。

学校教育課長 磯村賢一

答

開所以前から市内の小中学校を訪問し施設の説明を行い、各家庭へ案内を配布するなど周知を行っている。今後はHPやSNSも活用しながら、悩んでいる方に届くよう周知していく。現在は利用定員の15名に達していることから、施設の拡大や人員体制の増員についても検討している。

〈その他の質問〉

- ワイン特区の具体的な今後の活用について
- 職員の働き方改善について

総務常任委員会

付託議案

- 議案第46号 山梨市手数料条例の一部を改正する条例について
- 議案第47号 山梨市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第48号 山梨市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第50号 令和4年度山梨市一般会計補正予算(第45号) 関係付託部分
- 議案第52号 令和4年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第53号 令和4年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

総務常任委員会

- ◎三枝 正文 ○飯島 力男
- 木内 健司 村田 浩
- 藤巻 豊彦 古屋 弘和

く集まる山梨市駅、東山梨駅周辺を考えているが、既存の防犯カメラも何台か設置してあるので、その状況等を見ながら更新等も含め検討したい。

○「議案第46号 山梨市手数料条例の一部を改正する条例について」
問 マイナンバーカードの利用促進と市の窓口混雑の緩和のため、コンビニ等の多機能端末を使った各種証明書の交付に係る手数料を100円引き下げるとのことだが、市役所窓口で申請する場合も減額対象となるのか伺いたい。
答 通常の市役所市民課窓口において申請する場合は、今まで通りの手数料となるが、東館1階入口フロアに設置のマルチコピー機を利用し証明書を取得する場合については、コンビニ交付と同様に減額対象となる。

○「議案第50号 令和4年度山梨市一般会計補正予算(第45号) 関係付託部分について」
問 歳出2款総務費、1項総務管理費のうち、政策形成経費について、マイナンバーカード活用の場の拡大と窓口対応の省力化を図るため、マイナンバーカード対応記載台を導入することだが、どのようなものか伺いたい。
答 今、マイナンバーカード普及率アップのための取り組みをしているところであるが、それ以上に、マイナンバーカードを持つことの便利さを実感してもらうことが大切である。そのため、市役所での証明書等の発行手続きの際に必要とされる申請書の記入にあたり、マイナンバーカード所有者はカードを挿入することにより、氏名、生年月日、住所等の基本情報が印字される記載台を県内でいち早く導入するものである。

○「議案第50号 令和4年度山梨市一般会計補正予算(第45号) 関係付託部分」
問 歳出2款総務費、1項総務管理費のうち、国内・国際交流事業経費について、地域日本語教育推進事業について、詳細を伺いたい。
答 山梨市国際交流促進委員会主催により、日本語での意思疎通が困難な市内在住及び在勤の外国人を対象に、日本語能力の向上を図るため講師を招き、また市民がボランティアでサポートに付き、日本語の学習機会を提供する事業である。現在は20名の外国人の生徒がおり、今年度は11回の教室を予定している。



▲総務常任委員会での審査の様子

建設経済常任委員会

付託議案

- 議案第49号 山梨市乾徳公園設置及び管理条例の一部を改正する条例について
- 議案第50号 令和4年度山梨市一般会計補正予算（第4号）関係付託部分
- 議案第55号 令和4年度山梨市活性化事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第56号 令和4年度山梨市簡易水道事業会計補正予算（第1号）
- 議案第57号 訴えの提起について

建設経済常任委員会

- ◎星野 洋 ○小野 鈴枝
- 遠山 雄二 萩原 弥香
- 武井 寿幸 矢崎 和也

○「議案第50号 令和4年度山梨市一般会計補正予算（第4号）関係付託部分について」

問 歳出7款商工費、1項商工費のうち、住宅リフォーム支援事業経費の住宅リフォーム補助事業について、更なる周知の方法をどのように考えているのか伺いたい。

答 引き続き、市のHPや広報誌等で周知の徹底を図るほか、事業者からも制度のご案内をしていただくなど、効果的な周知の方法を検討していく。

問 歳出7款商工費、1項商工費のうち、道の駅運営管理経費のいちごハウスの撤去について、事業の反省を踏まえ、今後どのように活用していくのか伺いたい。

答 道の駅のみは観光施設であり、景観上好ましくないため、当該施設を撤去するものである。当面は駐車場として活用しな

がら、引き続き新たな観光振興に繋がる方策を検討していく。

問 歳出8款土木費、4項都市計画費のうち、アザレアタウン整備推進経費について、アザレアタウン土地区画整理事業全体の今後の流れを改めて伺いたい。

答 本事業は市の重要施策であるため、事業の進捗状況や今後のスケジュールについて、日程調整し改めて議会に説明する機会を設ける。

問 歳出6款土木費、1項農業費のうち、やまなし産地パワーアップ事業について、年間の申請件数を伺いたい。

答 今回の補正はトンネルメッシュ29件、ハウス3件、雨よけハウス2件の合計34件分の補正である。当初予算では30件分の予算を計上しているため、年間では合計約60件の要望を想定してい

る。

問 市営住宅の家賃滞納者に対する訴えの提起について、賃料の支払いが滞った場合どのように対応しているか伺いたい。また、家賃滞納者の人数とその推移について伺いたい。

答 賃料の滞納が3か月続いた時点で、本人及び連帯保証人に債務の履行を依頼する通知を行うこととしている。家賃滞納者は昨年度末時点で70人程度いるが、年々減少傾向にある。

問 歳出6款土木費、1項農業費のうち山梨市経営発展支援事業補助金のように、新規就農者に対する補助事業は拡充されているが、現役の農家への補助事業は少ない。最近では農機具や資材が高騰しているため、経営が厳しい農家も少なくないようである。そこで、現役の農家への補助事業を

創設してはどうか。

答 新規就農者への補助事業は、新規就農者の経済的負担軽減を目的に導入したものであるが、現役世代の農家はそうした新規就農者に比べ対象者が非常に多いため、内容や対象についての研究が必要である。



▲建設経済常任委員会での審査の様子

教育民生常任委員会

付託議案

議案第45号 専決処分の承認を求めるとして（令和4年度山梨市一般会計補正予算（第3号））

議案第50号 令和4年度山梨市一般会計補正予算（第45号）関係付託部分

議案第53号 令和4年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

議案第54号 令和4年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第1号）

請願第2号 加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

教育民生常任委員会

○岩崎 友江 ○深沢 敏彦
宮川 真有 糠信 平
土屋 裕紀 向山 輝

○「議案第50号 令和4年度山梨市一般会計補正予算（第45号）関係付託部分について」

問 歳出3款民生費、2項児童福祉費のうち、保育所一般経費について、保育施設再整備計画策定事業の内容について伺いたい。

また、この業務を外部に委託する理由と、補正対応とする理由について伺いたい。

答 保育施設再整備計画は、園舎の老朽化、園児数の減少、保育士の確保など、保育園の抱える様々な運営上の課題を解決するために、今後の方向性を明確にするものである。業務を委託する理由として、計画策定にあたってコンサルタントの持つデータやスキル、ノウハウが必要であること、計画のための各種調査や方向性の決定等に相当な期間を要すると考えられることから、業務委託が妥当と考えている。9月補正とした理由として、計画策定には、今の

保育園の現状から、いち早く取り掛かる必要があるが、策定業務には1年程度の期間を想定しており、新年度予算の執行では十分な時間が確保できないことから、補正対応により速やかに執行したいと考えている。

問 歳出4款衛生費、1項保健衛生費のうち、予防接種費について、緊急風疹抗体検査は、以前から実施しているものだが、今回補正が必要となった理由について伺いたい。

答 緊急風疹抗体検査については、令和4年3月31日までの期限措置であったが、あまり検査数が増えなかったこともあり、令和7年3月31日までの3年間の期間延長が行われたため、追加のクーポン券の発送等が必要になったことによるものである。

問 歳出10款教育費、6項保健体育費のうち、体育施設指定管理経費について、体育施設の修繕について、今回の補正の内容の他に、修繕を必要とする箇所はあるのか伺いたい。また、施設の問題点の把握はどのように行っているのか伺いたい。

答 各施設については、定期的な保守点検を実施しており、不具合や問題点を把握している。その中で、緊急を要するものについては、補正により対応するが、緊急でないものについては、主要事業として要望し、現時点で数件あげている。また、利用者から不具合に関する報告があれば、その都度職員が関係者と点検し、その把握に努めている。

問 歳出1款総務費、1項総務管理費のうち、一般管理経費及び3款地域支援事業費、2項包括的支援事業・任意事業費のうち、令和4年10月から、対象の介護事業所の介護職員の処遇改善が実施され、職員一人当たりの賃金が月額平均9000円程度引き上げとなることから、それに対応するためのシステム改修である。

答 令和4年10月から、対象の介護事業所の介護職員の処遇改善が実施され、職員一人当たりの賃金が月額平均9000円程度引き上げとなることから、それに対応するためのシステム改修である。

○「議案第54号 山梨市介護保険特別会計補正予算（第1号）」について

問 歳出1款総務費、1項総務管理費のうち、一般管理経費及び3款地域支援事業費、2項包括的支援事業・任意事業費のうち、

令和4年10月から、対象の介護事業所の介護職員の処遇改善が実施され、職員一人当たりの賃金が月額平均9000円程度引き上げとなることから、それに対応するためのシステム改修である。



▲教育民生常任委員会での審査の様子

決算特別委員会

付託議案

- 議案第58号 令和3年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について
- 議案第59号 令和3年度山梨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第60号 令和3年度山梨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第61号 令和3年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第62号 令和3年度山梨市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第63号 令和3年度山梨市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第64号 令和3年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第65号 令和3年度山梨市活性化事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第66号 令和3年度山梨市水道事業会計決算認定について
- 議案第67号 令和3年度山梨市簡易水道事業会計決算認定について
- 議案第68号 令和3年度山梨市下水道事業会計決算認定について
- 議案第69号 令和3年度山梨市病院事業会計決算認定について

決算特別委員会

- ◎星野 洋 ○深沢 敏彦
- 遠山 雄二 糠信 平
- 藤巻 豊彦 古屋 弘和
- 土屋 裕紀

○「議案第58号 令和3年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について」

問 令和3年度の決算については、247億6059万円余の歳入に対し、229億4749万円余の歳出となった。歳入歳出決算額のいずれも、合併以後、最大規模の決算額となった令和2年度に引き続き、非常に大きな決算額である。令和3年度の決算は、コロナ感染症対策やふるさと納税の関係も加味されていると思うが、健全な財政運営を行う上で、本市にあった適正な予算規模の考えを伺いたい。

答 以前は、本市の財政力から見た場合、170億円前後くらいが適正規模と言われていたが、社会保障に係る経費の増額や移譲事務の増加など、本市が独自にやらなければならない仕事も増えてきている。令和2・3年度は決算レベルでは200億円を超えているが、これは全てコロナ対策で伸

びたものであり、通常年の予算規模で考えると、180億円前後が一般会計における適正規模であると想定している。

問 労働費のうち、商工業活性化事業について、令和3年度に実施した生活応援・消費喚起商品券事業について、どのような成果や課題があったのか。また、今年度も同事業を実施しているが、昨年度の取り組みがどう生かされているのか伺いたい。

答 この商品券があったことにより、今まで行ったことがないお店の利用や、新たな商店の開拓等の効果が見られた。一方、一部の方から、業種ごとに分類された商品券の利用方法が分かりづらいとの相談もいただいた。今年度はその課題を解決するため、広報やSNSで取り扱い店舗の情報を頻繁に発信し、店舗に掲示する登録証を改善する等、商品券利用促進に努めている。

○「議案第61号 令和3年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について」

問 令和3年度末基金残額が8000万円超とのことだが、基金残高としては妥当な金額なのか。なお、掛け金の見直しなど検討しているのか伺いたい。

答 基金については、以前から指摘されていると監査委員からも、山梨市の交通・火災災害共済審査会でも協議しているが、大規模な交通事故が起きてしまった場合は、大きな費用が掛かるので少し様子を見た方がよいのではないかなどの意見もいただいている。見直しに関しては、自動車の安全性もよくなってきており、交通事故の件数が減ることが想定されるため、補償を厚くできないか、区への加入取り扱い報奨の見直しなどを検討しているところである。

○「議案第68号 令和3年度山梨市下水道事業会計決算認定について」

問 下水道事業の経営指標に關する事項について、令和3年度の経常収支比率は101・24%で令和2年度からは0・81ポイントの増、また経費回収率は65・53%で前年度より2・81ポイントの増ということであるが、下水道事業会計は良好な方向に向かっているのか伺いたい。

答 令和3年度は、前年度に比べると経常収支比率が大きくなっているため、方向としては良い方向に向かっているが、収入に關しては、他会計からの繰入金に依存しているため、今後、料金水準の見直しも必要な状態である。



▲決算特別委員会での審査の様子

議会活動日誌

9月

- 令和4年9月定例会（8月29日～9月30日）
- 令和4年度新100歳長寿者慶祝訪問
（10日、18日）
- 福田記念杯争奪第47回東山梨地区
中学生ソフトテニス大会（24日）
- 議会運営委員会（29日、30日）
- 議員全員協議会（29日、30日）
- 会派代表者会議（30日）



10月

- 山梨市教育委員会委員任命式（6日）
- 山梨市監査委員任命式（6日）
- 山梨市制施行17周年記念式典（15日）
- 第63回笛吹川県下納涼花火大会（15日）
- 峡東地域世界農業遺産推進協議会臨時総会
（18日）
- 焼山峠周辺秋の観光地美化清掃（26日）
- アザレアタウン整備に関する説明会（27日）
- 議会運営委員会（27日）
- 議員全員協議会（27日）
- 議会だより編集委員会（27日）
- 信玄公祭り山梨市隊出陣式（29日）

11月

- 甲州市制施行17周年記念式典（1日）
- 第268回山梨県市議会議長会定期総会（2日）
- 新翔会・公明党合同行政視察研修
（9日～11日）
- 令和4年度山梨市義務教育振興会議（11日）
- 市民クラブ・日本共産党合同行政視察研修
（14日～16日）
- 議会運営委員会（24日）
- 議員全員協議会（24日）
- 令和4年12月定例会（11月28日～12月21日）

議会を傍聴される方へのお願い

傍聴される際は、下記事項をお守りください。

- ①体温チェック、アルコール消毒、マスクを着用してご入場ください。
- ②携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードへの切り替えをお願いします。
- ③議場内での撮影・録音はご遠慮ください。
- ④体調が優れない方は、傍聴をご遠慮ください。

※山梨市議会では、感染症対策として、傍聴席の座席数を一部制限しています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。



「QRコード」読み取りで会議録などの情報を見ることができます。



12月定例会開催予定

- 11月28日(月) 本会議(開会)
- 12月13日(火) 本会議(代表質問)
- 14日(水) 本会議(一般質問)
- 15日(木) 常任委員会
- 21日(水) 本会議(閉会)

※全日程午前10時から開会予定

編集後記

見渡す限りの山々が色とりどりに染まり、紅葉の美しさに魅了される季節となりました。

ウィズコロナ時代を迎え、様々な諸行事も感染症防止対策を講じながら少しずつ増えきており、私たち議員も参加できる喜びを感じております。

これから11月末にかけて木枯らし1号が吹くと言われておりますが、本格的な冬の到来となります。市民の皆様におかれましても、ご自愛のほど、よろしくお願い申し上げます。

岩崎 友江

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 飯島 力男 |
| 副委員長 | 岩崎 友江 |
| 委員 | 古屋 弘和 |
| | 木内 健司 |
| | 村田 浩 |
| | 星野 洋 |